

# 平成26年度 村上市音楽部 活動報告

部長 熊倉 一恵

## 1 研究主題

音楽に親しみ、喜んで表現したり鑑賞したりする子を目指した音楽授業

## 2 研究の概要

5月 音楽部会 事業計画の作成（研究テーマ、活動計画、活動費など）  
8月 代表部会 指導案検討会、 音楽部会 レポートを持ち寄った研修会  
11月 音楽部会 指導案検討会  
12月 音楽部会 研究授業 授業者 村上南小学校 教諭 加賀田 麻沙  
題材名 第4学年「日本の音楽に親しもう」  
指導者 筑波大学附属小学校 中島 寿 様

## 3 研究の実際

### ○研究授業について

授業者は、ねらいを「テーマに合った旋律で自分の表現したいおはやしの旋律をつくることできる。」とし、前時に作った自分のリズム（四分の四拍子、二小節）に「ミソラドレ」の5つの音を使って旋律をつける授業を行った。

子どもたちは、自分の思い描くテーマに合う旋律を作ろうと、ワークシートに旋律線を書き、そこにミソラドレを乗せていた。授業後半では、熱心にリコーダーで試し演奏を繰り返す、お話しコーナーで友だちと演奏を聴き合う姿も見られた。友だちの演奏を聴いて「にぎやかだ。」「最後がかっこいい。」と感想を述べ合う様子も見られた。

協議会では、思いを音楽で表現するための手立てや、思いと演奏が一致しているのかどうかについて話し合われた。「ソーラン節の技」で、観賞の授業と結びつけて音楽づくりを行ったことがとても有効だったという意見が出た。

中島先生からは、リズムか旋律かを固定することで、思いを表現しやすくなることを教えていただいた。実際に鉄琴を使い、「さくらさくら」のリズムに固定して旋律づくりを体験した。鉄琴を部員で回していき、5つの音を使って即興で演奏したが、楽しく旋律づくりをすることができた。ワークシートにリズムや旋律を書かせることが、逆にやりにくくしていることに気付くことができた。部員からは、「音楽づくりは難しそうだと思っていたが、実際に体験することができ、すぐに授業でやってみたくなった。」という感想があった。

#### 「ソーラン節」の技～旋律～

- ① 5つの音でできている→ミソラドレ=五音階
- ② 隣り合った音に動いている。
- ③ ラで終わるフレーズは終わった感じがする。
- ④ 始めの音は「ラ」か「ミ」

## 4 成果と課題

- 指導案検討や研究授業を通して、研究主題に迫ることができた。
- 筑波大学附属小学校 中島寿先生に研究授業の指導をお願いし、これまで取り組みにくかった「音楽づくり」について分かりやすく教えていただき、より充実した研修をすることができた。
- 来年度以降、協議会でより多くの意見が出るように、事前の指導案検討のやり方や協議会のスタイルを検討していく。